

り、両者間の認識の違いがどのように解消されるかが今後の新体制の成否を握っているといえようか。様々な分野、国々、組織、いずれのサイエンティフィック・ソサエティーでも共通する課題、21世紀の研究者の乗り越えねばならない課題のように思えた。

参 考 文 献

- Turner, J., J. C. King, T. A. Lachlan-Coppe and P. D. Jones, 2002: Recent temperature trends in the Antarctic, *Nature*, **418**, 291-292.
- 山内 恭, 2000: 第26回南極研究科学委員会 (SCAR) 大気物理化学作業委員会 (PACA) 報告, *天気*, **47**, 17-18.



2003年武田研究奨励賞への応募について

武田研究奨励賞は、将来、実用化を目指し、生活者にとっての価値をもたらそうとしている研究計画を奨励する賞として、応募テーマの中から最も貢献が期待できるものに対して賞金を贈呈します。

2003年5月1日、本財団ホームページ上に本年度のセッションテーマ名を発表し、各テーマのもとに研究計画の募集を開始します。応募は全てインターネット上で受け付けます。

対象分野 (各分野1セッション)

- 1) 情報・電子系応用分野、
- 2) 生命系応用分野、
- 3) 環境系応用分野

授賞予定件数:

セッションごとに原則として、最優秀研究賞1件、優秀研究賞4件。

賞 金:

最優秀研究賞受賞者に、最高700万円、優秀研究賞受賞者に、最高50万円が贈呈されます。

応募資格:

応募者の国籍、年齢、所属機関は一切問いません。他から資金的援助を受けている方々も応募できます。個人でもグループでも応募できます。ただし、以下の条件を満たす方々を対象とします。その年のセッションテーマに関連して、生活者に価値をもたらさうの研究をしており、明確な到達目標を提示できること。

サイバーワークショップへの参加が可能なおこと、研究計画に含まれる知的財産権を自己責任において管理できること。

賞金の使途と交付方法:

財団として、賞金の使途と使用時期に制限は設けられません。研究成果の報告義務もありません。賞金の振込みは、原則として授賞決定翌年の1月1日から3月31日までの間に行います。

スケジュール:

セッションテーマ名発表 (インターネット上)	5月1日
研究計画募集	5月1日～5月30日
サイバーワークショップ	6月23日～9月5日
受賞者決定	10月下旬
授賞式	11月20日

お問い合わせ:

詳細は、財団ホームページをご覧ください。
<http://www.takeda-foundation.jp/award/tech/index.html>
 財団法人武田計測先端知財団
 担当: 津坂真理子・嶋田一義
 〒104-6591 東京都中央区明石町8-1
 聖路加タワー32F 私書箱33号
 Tel: 03-3549-2781, Fax: 03-3549-2787
 e-mail: ttea2003@takeda-foundation.jp